

「ネットワーク技術」に携わる職種において
共通して必須となる実務能力を評価する認定資格

Network+

Strengthen Your Workforce with Network+ Certification



CompTIA Network+認定資格を
保有する社員を登用することで、
組織のネットワークを
スキルを持つ人材に任せることができます

採用時のツール

CompTIA Network+を求人票の応募条件に記載することで、適切なスキルを持ったスタッフを採用できる可能性が高まります。

高いスキルを有する社員

採用担当マネージャの91%が、専門知識/技術を確認する上でCompTIA認定資格が有効であると述べています。Network+認定資格を持つ従業員は、ネットワークインフラストラクチャを効果的に管理する高いスキルを保有しています。¹

ロイヤリティの高い社員

認定資格を取得している社員の84%は、会社を辞めずに働き続けるため、スキルの高い従業員から長期に渡り恩恵を受けることができます。²

信頼性の高いネットワークの構築/管理

顧客との関係性を維持する上で、信頼性の高いネットワークの構築はビジネスにとって不可欠です。Network+認定資格によって、ITスタッフが、顧客企業に最適な信頼性の高いインフラストラクチャを構築し、保守管理する能力を保有していることが証明されます。

費用対効果：ROI

CompTIA Network+認定資格は、トレーニングで習得したスキルが、「実力」になっているかを確認するためのものです。また、認定資格の取得により、トレーニングでかかった費用は、継続的なビジネスの獲得により回収することが可能になります。

キャリアの向上

Network+認定資格の取得によって、ネットワーク管理者、ネットワーク技術者、ネットワークシステムエンジニア、またはテクニカルセールスエンジニアとして、より高い報酬が得られるITキャリアを目指すことを可能とします。

グローバルな認知

Network+認定資格の取得は、国際的に認知された資格保有者としての信用につながります。基本的なネットワークインフラストラクチャの管理、保守、トラブルシューティング、インストール、設定におけるスキルが証明されます。

他者との差別化/競争力

Network+認定資格により、理想の仕事を手に入れる可能性が広がります。採用担当マネージャの86%が、評価プロセス時にIT認定資格を重視すると述べています。³

より良い給与を得る

Network+認定資格は、市場での需要の高いスキルであることを証明するものです。ネットワークエンジニアの平均給与は、88,000ドルです。⁴



“業界の業界による
業界のための資格”

CompTIA認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA A+ SME

- 海外/一部抜粋
 - AT&T Government Solutions
 - Cisco Systems
 - Hewlett-Packard
 - IBM
 - Siemens
 - Department of Defense
 - United States Air Force

■ 日本（50音順）

- NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
- NECネットエスアイ株式会社
- 株式会社クリエイトラボ
- ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社
- 富士ゼロックス東京株式会社

CompTIA Network+



CompTIA Network+取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- ネットワーク管理者
- ネットワークエンジニア
- ネットワーク構築エンジニア
- ヘルプデスクエンジニア

様々なグローバル企業では、自社の社員の育成にNetwork+を必須/推奨資格として活用されています。

- Cisco
- U.S. Department of Defense (米国国防総省)

CompTIA Network+は、国際的に広く認知されている規格であるISO 17024を取得しています。世界中で500,000人を超えるネットワークエンジニア、管理者、インストラクター、ヘルプデスクエンジニア、ITエンジニアに取得されています。(2015年8月現在)

CompTIA Network+認定資格試験には、**多肢選択式の問題とパフォーマンスベースの問題**の両方が含まれます。トラブルシューティング、ネットワーク構成/設定、一般的な有線/無線ネットワークデバイスの管理、基本的なネットワーク設計と構築、ネットワークを管理する上で必要とされるドキュメントへの理解、ネットワークの制限や脆弱性への認識、ネットワークにおけるセキュリティの確立などに関連する問題が出題されます。

主な出題範囲

CompTIA Network+認定資格試験は、ネットワーク業務に携わる職種において、実務上共通して必須とされる技術知識、スキル、問題解決能力を問います。必須ではありませんが、この認定資格の受験者は、9~12ヶ月のネットワークにおける実務経験およびCompTIA A+またはそれに相応する資格を所有していることが望ましい条件とされています。

CompTIA Network+認定資格の取得者は、ネットワーク管理者、ネットワーク技術者、ネットワークインストーラー、ヘルプデスクテクニシャン、ITケーブルインストーラー等を含む様々な業務分野で活躍しています。

CompTIA Network+ (試験番号: N10-006)

第1章 ネットワーク設計	22%
第2章 ネットワーク運用	20%
第3章 ネットワークセキュリティ	18%
第4章 トラブルシューティング	24%
第5章 業界標準、業界手法、ネットワーク理論	16%

試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
N10-006	最大で90問	90分	100~900のスコア形式720以上

認定資格の詳細情報は、下記Webサイトをご覧ください:

http://www.comptia.jp/cont_certif_networkplus_n10-006.html

CompTIA Network+活用事例：米国国防総省での活用事例

米国国防総省 (The U.S. Department of Defense: DoD) は、効果的にDoDの情報、情報システム、情報インフラを守るため、十分に訓練され資格を取得した、マネージャ、テクニシャン、コントラクター、そして、特権的アクセスをもつユーザーなどすべての情報保証を必要とする人材に対し、「DoD Directive 8570.1M (米国国米総省指令8570.1M)」を要求しています。国家の安全に重要な仕事であるDoDに携わる全員の知識とスキルが高い水準のレベルであることを保証するため、DoDでは、CompTIA A+、Network+、Security+を含む資格取得を必須としています。

